

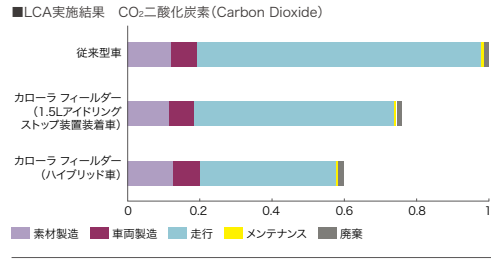
ライフサイクルで環境負荷を低減。

〈LCA(ライフサイクルアセスメント)*の実施〉
 材料、部品、車両製造および走行、メンテナンス、
 廃棄の各段階で環境影響をトータル評価する
 LCAを実施しています。その結果、CO₂、NOxなど
 の排出量を従来に比べ低減しています。

■自動車の生涯走行距離10万km(10年)を、JC08モードで
 走行した場合の結果です。

■トヨタではLCAにより相対的な環境メリットを確認すること
 を目的としているため、実施結果は指数で示しています。

* LCA:Life Cycle Assessment,資源採取～廃棄・リサイクル
 までの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評
 価する手法で、ISO14040シリーズで国際標準化されています。



トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの
 第三者認証機関テュフ ラインランドによるISO14040/14044
 規格に基づく審査・認証を受けました。

トヨタ カラー フィールダー 環境仕様

車両仕様	車両型式	DAA-NKE165G	DBA-NRE161G	DBA-NZE161G	DBA-NZE164G	
環境情報	燃料消費率*1 (国土交通省 審査値) km/L	34.4	23.0	17.6	16.4	16.0
	CO ₂ 排出量 g/km	67	101	132	142	145
燃料消費率	参考	「2020年度燃費基準*2」をクリアしています。				
	主要燃費改善対策	可変バルブタイミング、 アイドリングストップ装置、 電動パワーステアリング、 ハイブリッドシステム、 電気式無段変速機、 充電制御	可変バルブタイミング、 アイドリングストップ装置、 電動パワーステアリング、 自動無段変速機、 充電制御、ミラーサイクル	可変バルブタイミング、 電動パワーステアリング、 充電制御	可変バルブタイミング、 電動パワーステアリング、 自動無段変速機、 充電制御	-
排出ガス	認定レベルまたは適合規制(国土交通省)	SU-LEV*3*4				
	認定レベル値または 適合規制値(g/km)	CO 1.15	NMHC 0.013	NOx 0.013		
	車外騒音 加速/定常/近接	dB 74/70/76		72/70/85		74/70/89
	冷媒の種類(GWP値*5)/使用量	g HFC-134a (1,430*6) / 420		HFC-134a(1,430*6) / 370		
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*7)				
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*8)				
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)				
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)				
車室内VOC*9	自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値*10以下)					
リサイクル関係	リサイクルし易い材料 を使用した部品	TSOP*11	バックドア、フロント&リヤバンパー、センターコンソールボックス、インストルメントパネル			
	TPO*12		サイド&カーテンシールドエアバッグ			
	樹脂、ゴム部品への材料表示		あり			
リサイクル材の使用	再生綿フェルト	ダッシュサイレンサー、テッキサイドトリム				

*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
 *2. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。
 *3. JC08モード走行。
 *4. 平成17年基準排出ガス75%低減レベル。
 *5. GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数)
 *6. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。
 *7. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。
 *8. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスプレイランプ、室内蛍光灯)を除く。
 *9. VOC:Volatile Organic Compounds
 *10. 厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。
 *11. TSOP:Toyota Super Olefin Polymer
 *12. TPO:Thermo Plastic Olefin